

# YASUほほえみクラブ

【入会申し込み・問い合わせ】YASUほほえみクラブ事務局  
(総合体育館内) TEL587-4280、FAX587-4310

	日	曜日	時間	会場	対象	参加費 (未会員は 保険料含む)	備考
社交ダンス	17日 24日	(月)	19:00~21:00	コミセンぎおう	どなたでも	会員無料 未会員300円	ダンスシューズか 体育館シューズ
ジャザサイズ	31日	(月)	19:30~20:30	コミセンきたの	どなたでも	会員無料 未会員500円	運動靴 バスタオル (床敷用)
リズム体操	18日 25日	(火)	10:00~11:30	コミセンみかみ	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ バスタオル (床敷用)
剣道	12日 26日	(水)	19:00~21:00	野洲小学校	小学生以上	会員無料 未会員300円	
太極拳	27日	(木)	13:00~15:00	総合体育館	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ
バスケットボール	13日 20日 27日	(木)	19:30~21:00	野洲北中学校	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ
ソフトバレー ボール	13日 20日	(木)	19:30~21:30	北野小学校	小学4年生以上	会員無料 未会員300円	体育館シューズ
卓球	8日 29日	(土)	9:00~12:00	総合体育館	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ 所有者はラケット持参
硬式テニス	8日 22日	(土)	15:00~18:00	野州市体育センター	定員10人	会員 100円 未会員400円	雨天中止 事前申し込み要 所有者はラケット持参
	15日 29日		13:30~16:30	河川公園テニスコート	定員20人		
グラウンド・ ゴルフ	15日 22日 29日	(土)	9:00~11:30	野洲健康福祉センター 多目的広場	どなたでも	会員無料 未会員300円	雨天中止
バドミントン	15日	(土)	14:00~17:00	野洲小学校	中学生以上	会員無料 未会員500円	体育館シューズ 所有者はラケット持参
ミニ・ バスケット	16日	(日)	9:30~11:30	祇王小学校	どなたでも	会員無料 未会員500円	体育館シューズ 事前申し込み要
ラグビー	23日	(日)	9:00~12:00	祇王小学校	どなたでも	会員無料 未会員500円	雨天中止
ニュースポーツ	8日 22日 29日	(土)	13:30~15:30	篠原小学校	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ
	野洲小学校						
スポーツ サタデー	8日 15日 22日 29日	(土)	14:00~16:00	祇王小学校	どなたでも	会員無料 未会員300円	卓球・バドミントン・バス ケット・グラウンド・ゴルフ ほか 自由に楽しめます
	19:00~21:00						

# さざなみスポーツクラブ

【入会申し込み・問い合わせ】さざなみスポーツクラブ事務局  
(B&G海洋センター内) TEL589-5100、FAX589-5525

	日	曜日	時間	会場	対象	参加費 (未会員は 保険料含む)	備考
アラカルト・ スポーツ	12日 19日 26日	(水)	10:00~12:00	海洋センター体育館	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ ソフトバレー・卓球・バドミントン等
サタデー スポーツ	8日 22日	(土)	19:00~21:00	海洋センター体育館 市民グラウンド	どなたでも	会員無料 未会員300円	体育館シューズ 好きなスポーツを自由に楽しめ ます。家族での参加も歓迎!
太極拳教室	12日 26日	(水)	10:00~12:00	中主公民館別館3階	どなたでも	会員2000円 未会員7000円	4月開講・年間23回のスクール
ヨガ教室 (受講申し込み受付中)	19日	(水)	10:30~12:00	豊積の里総合センター 集団指導室	定員20人	会員1000円 未会員3000円	第1、3水曜日、6回コース
スキー教室 (申し込み受付開始)				国境スキー場	定員40人	会員 500円 未会員1500円	2月5日(土)、日帰り教室 受付<会員>1/8日(土)~、<未会員>1/15日(土)~

## 今年は酉年

### 酉(とり)・禽(とり) 鶏(とり)・鳥(とり)・トリ

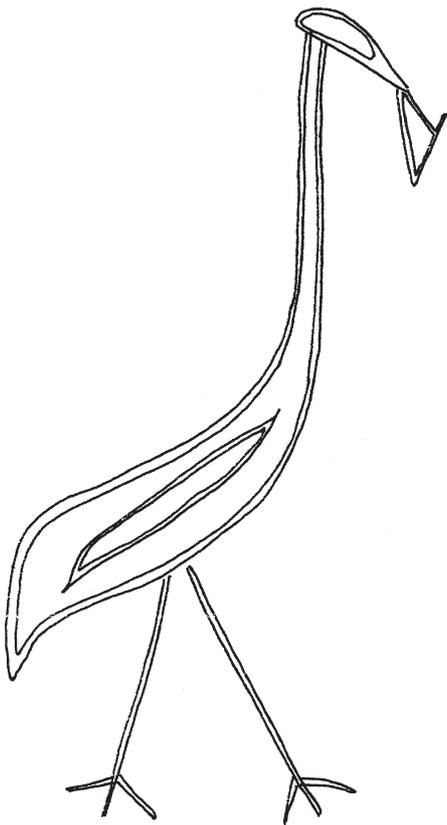
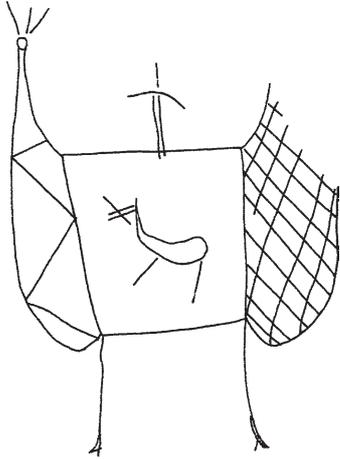
●小テーマ展・野洲の民具(30)

2月6日(日)まで

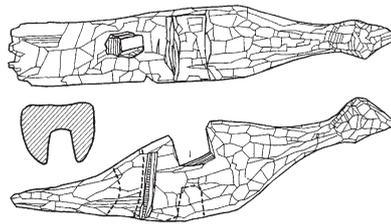
●1月の休館日のお知らせ

月曜日(10日は開館)、11日(火)、1日(初)～4日(火)

奈良県清水風遺跡「鳥装をした人」



兵庫県桜ヶ丘(神岡)5号銅鐸



「鳥形木製品」大阪府池上・曾根遺跡

2005年は酉年ですが、十二支は古代中国の曆法に定められていたもので、その起源はさらに西方の地から、もたらされたといわれます。酉という漢字は、酒・酔・酢・醬・醃などと醸造にかかわる漢字として使われることから、十二支は本来、動物を表したのではないという意見もあります。

日本でも弥生時代の人びとはトリを神聖なものとして考えていたようで、北部九州から近畿地方にかけて弥生の村を発掘すると鳥型木製品がまれに出土します。鳥型木製品は一般に下面に穴をあけて、竿をつけて立てられたと考え

られています。三國志「魏書」東夷伝の馬韓(現在の韓国南部にあった国名)の条に、祭りの場を木の鳥をつけた竿を立てて並べて囲んだと書かれており、弥生人も同じように使っていたと考えられています。銅鐸にも、さまざまなトリの絵画がみられ、サギ・オナガドリのほか、大岩山2号銅鐸にも尾を巻いたトリが2つ描かれています。

弥生土器にもトリが数多く描かれています。鳥装をした人間が表現されたものがあり、奈良県清水風遺跡では、頭に羽をつけてシカの絵が描かれた着物を着た司祭(巫女)、奈良県坪井遺跡の絵は、翼をつけた鳥人(司祭)、佐賀県吉野ヶ里遺跡では頭に羽をつけ盾をもった戦士が描かれています。トリは穀霊の運搬者として、種初(れい)の発芽の力を与え、霊鳥(れい)としてあがめられ、豊穰(ほうじょう)・命をもたらす神の使いと考えられていたとみられます。

古墳時代になっても大塚山古墳で鶏や水鳥の埴輪(はにわ)が、栗東市の狐塚古墳から鳥型木製品が出土し、「記紀」や「風土記」などの神話にも天鳥船(あめのとりふね)・八咫鳥(やたがらす)・白鳥など多くのトリが登場しており、トリを神聖なものとする風習が、続いています。初詣に行く、神社の鳥居の起源は弥生の鳥型木製品にあるとされ、弥生の風習が二千年の時を超えて現代の私たちの生活の中に生きています。(歴史民俗博物館学芸員 杉本源造)